

平成 29 年度 都城市文化賞受賞者が決定！

都城市文化賞は、都城市文化賞条例に基づいて本市の文化の向上発展に顕著な業績または功労のあった個人、団体に対し贈るもので、①学術部門・②芸術部門・③技術部門・④社会教育部門・⑤体育部門・⑥文化功労部門の6つの部門で選考。合併以降、今年が12回目。これまでに学術部門1人、芸術部門3人、社会教育部門1人、体育部門2人、文化功労部門6人の計13人が受賞しています。

なお、旧都城市においては、昭和44年の制定以降、学術部門5人、芸術部門13人、文化功労部門43人と5団体、体育部門8人と1団体、社会教育部門19人と1団体の計88人と7団体を選定しています。

【文化賞贈呈式】

日 時：平成29年11月24日（金）13時30分～

場 所：都城市役所4階 秘書広報課前会議室

※受賞者への取材は、贈呈式終了後、記者クラブ室にて時間を設けます

【受賞者と功績の紹介】

●芸術部門 久保 輝巳（くぼ てるみ）氏（鷹尾町・89歳）

図書館学の専門家として宮崎県立図書館司書、関東学院大学教授等を勤め、その間、作家活動を続け、3度、芥川賞候補となる。文学界新人賞佳作も受賞。また、都城の同人誌において指導・啓発に取り組んでいる。

言語活動を都城で継続発展させるため、現在は、公益財団法人宮崎県芸術文化協会主催のみやざき文学賞小説部門の審査員として活躍。

●文化功労部門 蓑部 樹生（みのべ たつお）氏（高崎町・71歳）

高崎星を見る会を立ち上げ、たちばな天文台職員として、星や太陽等の観測結果を市内外に発信。また、県環境保全アドバイザーとしても、市内外で講演等を行い、星の文化を通して地球環境を考える活動を推進するなど、その取り組みは顕著。

近年では、全国から日食グラスを集め、ウガンダやインドネシアの子ども達と共に日食観察を行うなど海外交流も注目を集める。

●文化功労部門 竹原 由紀子（たけはら ゆきこ）氏（山之口町・81歳）

長年にわたり、都城北諸地域の伝説や民話の発掘に尽力。特に方言の大切さを訴え、語り部育成活動に大きく貢献。都城おかしむじ会の代表として、様々な分野の団体などと交流を図り、青少年育成や各種イベントの開催を支援。

現在は、宮崎県立博物館の民家園や青井岳荘など県内各地で語り部の活動をしながら、宮崎県立図書館の語り部養成講座の講師としても活躍。

【問い合わせ】 コミュニティ文化課 電話：23-2132（直通）

平成 29 年度都城市合同防災訓練を実施！

巨大地震の発生に伴い市全域が大きな被害を受け、姫城地区でも多数の家屋倒壊や火災が発生していることを想定した防災訓練を実施します。

地域住民の皆さんや自主防災隊、防災関係機関合同の防災訓練を通して、災害発生時の相互協力体制と連携強化、災害対応能力、自助力の向上、防災意識の高揚を図ります。なお、今回の訓練は、姫城地区の住民に参加を呼び掛け、自治公民館組織を主体とした住民参加型の訓練です。

【日 時】

平成 29 年 11 月 12 日(日) 8 時～12 時

※雨天決行。ただし、気象警報等が発表された場合や、発表の可能性のある場合は中止

【場 所】

都城市コミュニティセンター、都城市中央公民館

【内 容】

- 情報収集・伝達訓練及び通信訓練、避難誘導・避難訓練
- 災害用伝言ダイヤル「171」体験等の避難所研修
- AEDの取り扱い等の応急救護訓練
- 避難所運営訓練（HUG訓練）、濃煙体験等
- 炊き出し訓練、水防訓練（土のう積み）
- アマチュア無線研修・体験
- 展示コーナー（防災関係車両・高圧電源車・移動ガス発生装置等）

【参加予定人数】

200 人

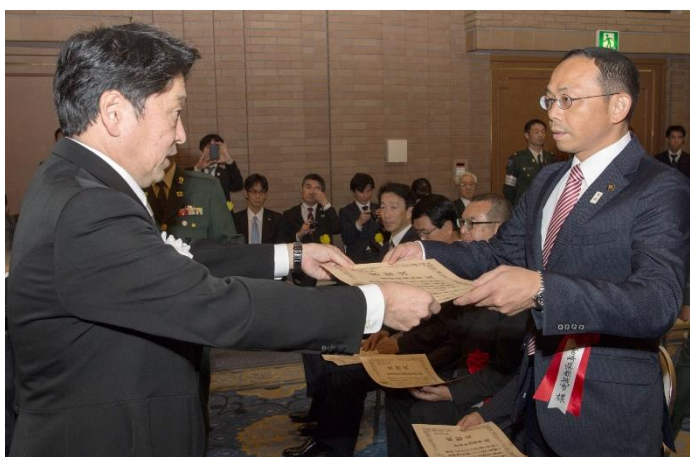
【参加予定の事業者や団体】

姫城地区自治公民館連絡協議会、陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎県都城警察署、宮崎県都城土木事務所、西日本電信電話株式会社宮崎支店、日本赤十字社宮崎県支部都城地区、都城市赤十字奉仕団、九州電力株式会社都城配電事業所、宮崎ガス株式会社都城支店、宮崎県看護協会都城・北諸県地区、アマチュア無線都城クラブ、NPO法人宮崎県防災士ネットワーク都城支部、都城市消防団・都城市消防局、都城市

【問い合わせ】危機管理課 電話：23-2129（直通）



防衛大臣感謝状の表彰団体に選定！



自衛官募集にかかる広報活動等、本市の自衛官募集の取り組みが認められ、平成22年度以来となる防衛大臣感謝状（自衛官募集功労賞）の表彰団体に選定されました。

今年度、全国で10自治体と7団体を選定。県内（九州）では、本市のほかに西都市や新富町、私立都城東高等学校が同じく表彰を受けました。

【期 日】

平成29年10月28日（土）

【場 所】

ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）

【参加者】

小野寺五典防衛大臣、池田市長 ほか

【選考条件】

自衛官候補生が過去3年間、継続して一定数以上入隊し、募集業務遂行に積極的に協力した地方公共団体

※当市からの自衛官候補生入隊者：H26年度～28年度 104名

【選定理由（当市の具体的な取り組み）】

- 自衛官募集事務の窓口として募集案内や、ポスターの庁内掲示等を行っている
- 市内全域に設置されている自衛官募集看板及び、掲示板の修繕や新設を行っている
- 自衛官採用試験の前には、都城市役所本館1階の市民サロンにおいて、自衛官募集の広報を行っている（平成29年度は7月3日～14日まで実施）
- また、都城市危機管理課は、宮崎県防衛協会都城市支部事務局として、自衛隊関連行事で駐屯地への支援などを積極的に行っている



庁舎西側国道10号沿いに設置した募集看板

【問い合わせ】危機管理課 電話：23-2129（直通）